



2021年11月2日

各位

上場会社名 三井海洋開発株式会社
 代表者 代表取締役社長 金森 健
 (コード番号 6269)
 問合せ先責任者 常務執行役員 高野 育浩
 (TEL 03-5290-1200)

2021年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年2月9日に公表した2021年12月期通期(2021年1月1日～2021年12月31日)の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、期末配当予想(1株当たり期末15.00円、年間合計30.00円)の修正はありません。

記

●業績予想の修正について

1. 2021年12月期通期連結業績予想数値の修正(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	400,000	—	10,000	5,000	88.73
今回修正予想(B)	400,000	—	△4,500	△6,500	△115.33
増減額(B-A)	—	—	△14,500	△11,500	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	309,925	△21,614	△12,854	△13,076	△232.05

2. 修正の理由

FPSO Cidade de Santos MV20 で実施中の大規模修繕で利用しているフローテル(※)において、新型コロナウイルス感染症の感染者が多数発生しました。その影響を受けフローテルへの乗船人員数が制限された結果、修繕工事に従事する人員が不足したことから、工期及びそれに伴う操業停止期間が大幅に延長されました。またFPSO Cidade de Niterói MV18についても、故障した機器の修復作業のため現在操業を停止しております。操業停止期間中は、収入が計上されないことから、チャーターおよびオペレーションサービスに関する損益が悪化する見込みとなっております。

また、上記状況を含め当社持分法適用関連会社であるGAS OPPORTUNITY MV20 B.V.の直近の業績の動向を踏まえた将来の回収可能性を慎重に検討した結果、2021年12月期第3四半期連結会計期間において、同社が保有するFPSO Cidade de Santos MV20の帳簿価格を回収可能価額まで減額し、減損損失約29億円(当社持分相当額)を「持分法による投資利益」に計上する見込みとなっております。

さらに現在進行中の建造工事についても、一部工事の遅れ等により収益率が低下したことなどから、利益額が期初予想を下回る見通しとなっております。

上記の理由から、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益の予想を下方修正することといたしました。

(※)海上に設置する居住施設

(注)上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上